

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

平成 26年 3月 19日

計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	盛岡市										
計画の目標																	
I にぎわいのある市街地の形成																	
・地域内への人口定着を図るため、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備し、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・区域内における、計画人口に対する定着人口率。																	
・区域内の、建築物戸数。																	
定量的指標の定義及び算定式																	
区域内人口 Σ 区域内人口 / Σ 区域内計画人口 × 100 (%) 区域内建築物戸数 建築物戸数 (戸)										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値	中間目標値	最終目標値					
										(H22当初)	(H24末)	(H26末)					
										65.80	65.83	65.94					
										(5,345)	(5,348)	(5,362)	上段：() 従前エリアの値 下段：変更後エリアの値				
										4,638	4,644	4,658					
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,199	A	6,097	B	0	C	102	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		1.6%						
交付対象事業																	
A 基幹事業（道路事業）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26		
4-A-1	街路	一般	盛岡市	直接		区画	改築	太田地区（（都）下太田屋敷田線外）	区画整理77.2ha	盛岡市						3,991	H34
4-A-2	街路	一般	盛岡市	直接		区画	改築	都南中央第三地区((都)岩手飯岡駅三本柳線外)	区画整理44.0ha	盛岡市						1,043	
4-A-3	街路	一般	盛岡市	直接		区画	改築	道明地区((都)津志田下飯岡線外)	区画整理70.6ha	盛岡市						995	H34
4-A-7	道路	一般	盛岡市	直接		市町村道	改築	(他)市道三上川原2号線外	道路改築L=0.2km	盛岡市						68	H34
												小計			6,097		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26			
												合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26			
4-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接		改築	太田地区(建物補償・造成)	建物補償・造成整備面積10.7ha	盛岡市						102	H34	
												合計			102		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
4-C-1	区画道路築造（4-A-1）と一体で建物補償及び宅地造成を行うことにより、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。																

社会資本整備総合交付金チェックシート (活力創出基盤整備タイプ)

計画の名称:賑わいのある市街地の基盤づくり

市町村名:盛岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合	
1)計画の目標が市町村の総合計画[盛岡市総合計画]と適合している。	○
2)計画の目標が「盛岡市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性がある	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている	○
③事業の効果	
1)目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
2)ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
④計画の具体性	
1)ハード整備の必要性が整理されている	○
2)ソフト施策の目的が明確である	○
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○